



芦屋市立図書館 こどもの本ボランティア ムギの会

こどもと本の小さな架け橋

図書館の職員とともに「こどもと本をつなぐ活動」を始めてもうすぐ60年を迎えます。私たちは、本と人との出会い、人と人との出会いを大切にしながら、毎週ストーリーテリングや



絵本の会

絵本の読み聞かせを届けています。ムギの会の名前はファージョンの童話「ムギと王さま」にちなんでいます。ムギの会は和気あいあいと自由に話せる雰囲気、活動を続けるほどに楽しさが広がります。



毎週こどもたちに「おはなし」を語ります

冬の大人が楽しむおはなしの会

- 日時 2月18日(水) 午前10時～11時30分
- 会場 おはなしの部屋

グループメルヘン



絵本の世界でこどもと笑顔をつなぐ

昭和53年に公民館図書室での活動から始まり、現在の打出分室や市内小学校で絵本の読み聞かせを続けてきました。多くのこどもや親子に本と出会う楽しさを届け、現在は1人となりましたが、「ムギの会」の協力を得ながら活動を継続しています。成長したこどもたちが「ありがとう」と感謝を伝えに来てくれることもあり、こんな感動があるから、本当にやりがいのある活動だと思っています。

打出分室 こどもおはなしの会

- 心をこめた絵本の読み聞かせを行っています。
- 日時 毎月第3土曜日 午後3時～3時30分
- 会場 うちぶん(打出教育文化センター)

こどもの本の研究会 図書館主催

- 日時 毎月第2水曜日 午前10時30分～正午
- 会場 集会室

おはなしの研究会 図書館主催

- 日時 毎月第4水曜日 午前10時30分～正午
- 会場 集会室

メンバー募集中

ぜひ研究会に
お越しください

芦屋点字友の会



小学生対象の点字教室



一文字ずつ点訳していきます

点字が結ぶ本と人。

昭和42年に発足し、「点字あしや」第1号の発行をきっかけに活動を開始しました。以来、視覚に障がいのある人の読書や情報取得を支えるため、「広報あしや」や「市議会だより」「社協だより」のほか、取扱説明書や時刻表、楽譜なども依頼があれば点訳しています。また、点字を知ってもらうための活動も行っています。簡単ではないからこそ面白い、教え合える素敵な仲間と一緒に楽しく活動しています。



朗読ボランティアグループ あし笛

声で届ける読書の楽しみ

視覚に障がいのある人へ声で広報をお届けしたいという思いから「朗読ボランティアグループあし笛」を創立し昨年で50周年を迎えました。図書館での対面朗読や朗読会、デージー図書(新聞、経済誌、小説等の録音図書)の作成に取り組んでいます。毎月発行する声でお届けする広報は5人で約10時間かけて制作。その他、刊行物は「社協だより」や「市議会だより」もお送りしています。



音声録音中。緊張。



50周年記念の朗読会

聞き手の顔を思い浮かべ、音の聞きやすさを大切にしています。



メンバー募集中

ともにボランティア活動をしたい方、興味がある方大歓迎です。アットホームな雰囲気の中、一緒に活動しませんか。ご連絡ください。

楽しい図書館ボランティア

本を開くと、知らない世界に出会える。図書館は、そんな小さな“旅の出発点”です。

けれどその裏には、静かに支える多くの人たちの存在があります。

読み聞かせでこどもたちの笑顔を引き出す人。点字で物語を紡ぐ人。声で本を届ける人。本のそばに緑の時間をつくる人。

イベントでにぎわいを生む人。本と人、人と人をつなぐその輪が、図書館をもっとあたたかくしています。

今回は、そんな“芦屋市立図書館を支えるボランティア”の皆さんの活動をご紹介します。